

兵庫医科大学病院のチーム医療

所属部署の
垣根を越えた

21の医療チームが さまざまな活動をしています



チーム医療とは、高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが互いに連携し合って医療を提供すること。兵庫医科大学病院には、専門職種のメンバーが所属部署を越えて集まる21のチームがあります。患者さんの状況に合わせて活動するこれらのチームをご紹介します(第7回)。

骨盤内臓全摘に多職種で挑む

骨盤内臓全摘周術期管理チーム

骨盤内臓全摘は、直腸がんの局所再発などの骨盤悪性腫瘍に対して行う、周囲臓器の合併切除を伴う極めて難易度の高い手術です。このチームでは、術前評価から術式検討、術後ケア、退院支援までを多職種で協議・連携。医師、看護師、管理栄養士、リハビリ、ソーシャルワーカー、緩和ケアチームが一体となり、患者さんの安全とQOLの向上を支えています。

【構成メンバー】医師(下部消化管外科、泌尿器科、形成外科)、看護師、理学療法士、管理栄養士、診療放射線技師



平時から多機関と協力して防災に取り組む

災害対策推進チーム

当院の病院防災と災害医療体制の中枢を担います。非常時でも最善の対応をとれるよう、企画・運営にも携わりながら病院内内外のさまざまな訓練や研修に参加。職員の知識・技能の向上を図りながら活動しています。平時から、医療や消防、警察など多くの機関と連携し、地域防災力や災害対応力の向上を見据えて、災害拠点病院としての責務を果たしていきます。

【構成メンバー】医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士



拘束に頼らない安心・安全なケアを

身体的拘束最小化チーム

身体的拘束を最小化する体制を整備し、原則禁止の規定を順守するために設立されたチームです(2025年2月発足)。医師、看護師、薬剤師、作業療法士が協働し、指針の策定、実施状況の把握・職員周知、研修の検討などに取り組んでいます。

【構成メンバー】医師、看護師、薬剤師、作業療法士



それぞれの視点と知識を持ち寄り、一つの想いで患者さんを支える——それが兵庫医科大学病院のチーム医療です。これからも、さまざまなチームが、患者さんやご家族に寄り添った、より質の高い医療を目指して取り組んでまいります。